

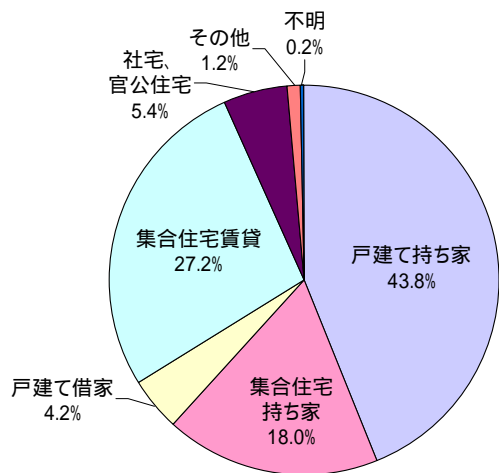


### 持ち家志向は不況でダウン?

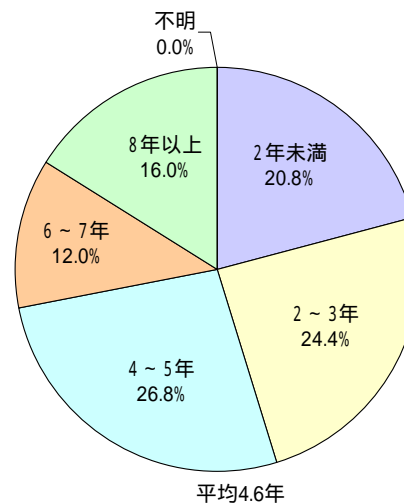
幼稚園児のいる家庭の住居形態は、前年に比べ、「持ち家」の所有率が、戸建ては45.7%から43.8%に、集合住宅は23.1%から18.0%に減少。その分、集合住宅賃貸が22.4%から27.2%に増加。戸建て借家も3%から4.2%と、微増だ。続く不景気により、払い切れるか分からない住宅ローンを組むよりも、その時々々の生活スタイルに合わせた賃貸住宅を選ぶ家庭が増えているのだろうか(グラフ)。

居住年数は平均4.6年で、4～5年の人が26.8%と最も多い。逆算すると、現在園児である子どもを妊娠～出産したころと一致する。子どもの誕生に合わせてマイホームを購入したり引っ越ししたりする人が多いということだろう(グラフ)。

グラフ 自宅の住居形態は何ですか? (n = 500)



グラフ 今の住宅の居住年数は何年ですか? (n = 500)



**園児とママの情報誌「あんふぁん」** 私立幼稚園に通う園児とママのための情報誌。子育て情報はもちろん、地域密着情報を発信し子育てライフをサポートしています。

(あんふぁんサイト <http://www.enfanble.jp/>)

**リビングくらしHOW研究所** 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

#### <調査概要>

2010年9月10日～9月26日実施の「あんふぁん」9月10月合併号誌面のアンケートの回答から、500件を集計

#### <調査実施> あんふぁん